

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0176400323		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム はぼ～れ		
所在地	北海道苫前郡羽幌町栄町111番地 (電話) 0164-62-5189		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月7日	評価確定日	平成21年7月29日

## 【情報提供票より】(平成21年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月8日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	2階建ての	～ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	6,300～18,900円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	252円	昼食	305円
	夕食	388円	おやつ	105円
	または1日当たり		1,050円	

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	8名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84歳	最低	71歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	北海道立羽幌病院・加藤病院・マルチ歯科クリニック
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、1フロアの中にグループホーム2ユニットとデイサービスがあり、ホーム内で散歩や運動が可能になっており、利用者はデイサービスの利用者との交流や大型のお風呂やカラオケやゲームを楽しんだり充実した生活を過ごしています。また、ホーム行事も積極的に行い、「クリスマス会」「餅つき会」、事業所全体で行う「夏祭り」などで利用者家族や地域の方々との交流も図っています。隣には道立羽幌病院があり、医療面でも安心感が感じられ、ホームだよりの「もえからのお手紙」では、認知症コラムや毎日の利用者のその日の印象的な様子を記載し、家族へわかりやすく伝えています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題は、運営推進会議の定期的な開催でしたが、おおむね定期的に開催され改善されています。今後も更に継続して開催されるように研鑽を積んでいます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解して、サービスの質の向上に取り組んでいます。また、運営向上委員会を通じて内部監査を実施して、具体的な改善への是正が行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的開催されています。主題については運営推進会議の目的(地域密着型サービスについて)事業所の利用状況と活動状況について 外食予定について 外部評価の報告と課題について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホームだよりの「もえからのお手紙」では、利用者一人ひとりの健康状態や日常の暮らしぶり、ホーム行事参加の様子など近況報告の他、認知症コラムを連載し、認知症について家族の理解が進むよう取り組んでいます。また、定期的に「家族懇談会」を開催して、意見や希望、不満を出していただく機会を作り、ホームの運営に活かしています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	併設されているデイサービスに訪れる地域の方々との交流や「あざらしお話会」の本の読み聞かせのボランティアの訪問もあり、日常生活を通じて地域との連携が行われています。「羽幌町認知症の人と歩む会」に参加して、情報提供や講習会、事業所見学開催など地域の人達との交流が行われ認知症に対する理解や啓発の活動に取り組まれています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の経営理念、介助理念、年間目標を明示して、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けていくことを支えていくサービスとして取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念、介助理念、年間目標を達成するために朝礼などで唱和して、その達成について日々取り組んでいる。また、職員は1日の目標を明確にしてケアに取り組み、職員間で目標を共有している。		運営向上委員会を立ち上げて各事業所間で内部監査を実施して改善や良い取り組みを事業所間で共有し、ケアの質を向上させる取り組みが行われている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設されているデイサービスに訪れる地域の方々との交流など日常生活を通じて地域との連携が行われている。また、地域のボランティアの「あざらしお話会」の訪問があり、本の読み聞かせや手遊び、大型紙芝居などで地元の人々と交流が図られている。		「羽幌町認知症の人と歩む会」に参加して、情報提供や講習会、事業所見学開催など地域の人達との交流と連携が行われ認知症に対する理解や啓発の活動に取り組まれている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解して、サービスの質の向上に取り組んでいる。また、運営向上委員会を通じて内部監査を実施して、具体的な改善への是正が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議についてはおおむね定期的に開催されており、メンバーは家族、羽幌町職員、道立羽幌病院総看護師長、羽幌町認知症のひと歩む会 会長、調剤薬局役員、町内会長、法人役員、管理者・職員で構成されサービス向上に活かす取り組みがされている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町職員の運営推進会議への参加や行政との連携について、町の担当者と必要に応じて日常的に連絡を取り、日々取り組みケアサービスの質の向上に活かしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームだよりの「もえからのお手紙」で、利用者一人ひとりの健康状態や日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など近況報告の他、認知症コラムを連載し、家族へ認知症への理解が進むように情報提供に取り組んでいる。		定期的に「家族懇談会」を開催して、意見や希望、不満を出していただく機会を作り、ケアプランやホームの運営に活かしている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用契約書に苦情相談窓口を明記しており、職員は気軽に意見や苦情・相談ができるように心掛け、苦情や意見を受けた際は、全員で話し合い、改善に向けて取り組み、再発防止に努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、及び管理者は職員が長期間に渡って勤められるように仕事上の悩みや相談事を極力聞くように心掛けており、馴染みの職員と利用者の信頼関係を大切に考えている。やむなく退職する場合は、それによって利用者へダメージがないように全体でフォローするよう心掛けています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開催されるミーティングで、各職員がテーマを決めて講師となり内部研修を充実させており、外部の研修参加も奨励して、報告会や資料の伝達も行われている。また、新人指導にプリセプターシップを取っており、先輩職員が責任を持って指導にあたっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域に唯一のグループホームなので、交流はないが、近隣のホームとは、電話や会議の際に交流を図っており、行政や社会福祉協議会との連携や併設されているデイサービスで利用者同士の交流に取り組まれている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前にホームを見学してもらい、利用者の不安が無いように配慮しており、併設されたデイサービスでの交流や見学などで不安を解消する取り組みや、納得したサービスが利用できるように相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	普段の生活の中で利用者と共に食事の準備や後片付け・掃除・畑仕事の仕方を教わったり、できることに着目し支え合う関係を築いている。また、ラーメンや寿司などの外食や墨絵、将棋、カラオケなどの趣味への支援など喜怒哀楽を共にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を優先して、アセスメントを行い、職員全員が把握に努めている。バラ園の見学やりんご狩り、畑での野菜作り、中庭での焼肉などで気分転換したり、ラーメンや寿司などの外食など取り組みが行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画を作成し、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報収集を図っている。また、職員からの日常生活の中で新たな気づきや意見を取り入れ一人ひとりが充実した生活が過ごせるような介護計画になっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画は定期的に評価と見直しが行われている。また、利用者の状態変化や新たなニーズが生じた場合は期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や要望のある場合には外食や散歩、買い物など柔軟に支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されており、家族等の希望を最優先に考え、適切な医療が受けられるように支援している。また、医師・歯科医師の往診も可能になっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期にも可能な限り対応している。医療機関と連携して利用者・家族とも繰り返し相談し合いながら慎重に検討し対応する取り組みがなされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法に対応した取り組みが行われ、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にして、散歩や買い物、外食、畑作業での野菜作り、食事の準備・後片付け、ドライブなど支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段の会話の中で好みのもの、その日に食べたいものなどを聞きながら献立を考えたり、職員も利用者と一緒に楽しんで食事をして和やかな雰囲気を出している。また、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて食事の準備や後片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に自由に行っており、利用者の希望に応じて対応している。また、デイサービスの大浴場も希望によって利用可能でゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴を活かしながら散歩や買物、食事の準備・後片付け、畑作業、花見や紅葉狩りなどへのドライブなど気分転換し活力に繋がるよう支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩、買い物やりんご狩り、さくらんぼ狩り、外食などの行事の年間計画を立てたり、その時々利用者の希望に応じて外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、チャイム・センサーの設置などなるべく鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は職員がさりげなくついていくことで安全面で配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難・消火訓練は年2回利用者や町内会の方たちも参加して行われており、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命の訓練が実施されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され対応されている。また、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、管理栄養士や医師の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共有スペースには、利用者が集い職員や利用者同士談笑して自由にごくせる場となっている。ウッドデッキでは外気浴ができ、中庭にはベンチや椅子、テーブルが配置され焼き肉などが出来るスペースが設けられている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、テレビや仏壇、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族などの写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。